

4 B問題(活用)に対応するための練習問題

()年()組()番 名前()

1 さとるさんは、四角形について学習した。次の問いに答えなさい。

(1) 四角形は、次の場合に平行四辺形になる。()にあてはまる言葉を、下の【語群】から1つずつ選び、書き入れなさい。

- ① 2組の向かい合う辺が、それぞれ平行であるとき(定義)
- ② 2組の向かい合う辺が、それぞれ()とき
- ③ 2組の向かい合う()がそれぞれ等しいとき
- ④ ()が、それぞれの()で交わる時
- ⑤ ()の向かい合う辺が、等しくて()であるとき

【語群】

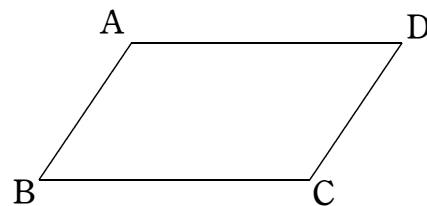
中心	中点	対角線	角	対頂角
等しい	平行	垂直	1組	3組

(2) さとるさんは、長方形、ひし形、正方形の対角線に注目して、次のようにまとめた。このとき、()に適切な図形の名称を書き入れなさい。

- ① ()の対角線は、長さが等しく、垂直に交わる。
- ② ()の対角線は、長さが等しい。
- ③ ()の対角線は、垂直に交わる。

(3) □ABCDに次の条件を加えると、それぞれどんな図形になるか答えなさい。ただし、対角線の交点をOとする。

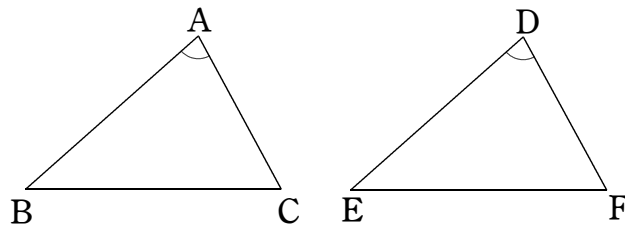
- ① $\angle B = 90^\circ$ 答え _____
- ② $AC = BD$ 答え _____
- ③ $AC \perp BD$ 、 $AO = BO$ 答え _____



実際に図に辺や角度を
かいて確かめてみよう!



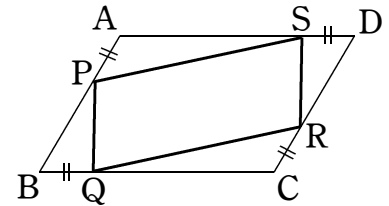
2 次の図の△ABCと△DEFにおいて、 $\angle A = \angle D$ であることはわかっている。このほかにどのようなことがわかれば、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ といえるか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。また、そのときの合同条件を答えなさい。



- ア $AB = DE$ 、 $BC = EF$ イ $AB = DE$ 、 $\angle ABC = \angle DEF$
- ウ $AC = DF$ 、 $BC = EF$ エ $\angle ABC = \angle DEF$ 、 $\angle ACB = \angle DFE$

答え 記号 _____ 合同条件 _____ が、それぞれ等しい。

3 右のような $AD > AB$ である□ABCDがある。それぞれの辺上に、 $AP = BQ = CR = DS$ となる点P、点Q、点R、点Sをとる。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) ひかりさんは、四角形PQRSが平行四辺形であることを証明するために、「2組の向かい合う辺が、それぞれ等しい」ことを示した。次の()内には、証明の前半部分がかかれている。

()にあてはまるものを書き入れて、証明の前半部分を完成させなさい。

△APSと△CRQで、
仮定より $AP = () \dots \textcircled{1}$
平行四辺形の2組の向かい合う角は等しいので、 $\angle PAS = \angle () \dots \textcircled{2}$
ここで、平行四辺形の2組の向かい合う辺は等しいので、 $() = CB$
また、仮定より $DS = BQ$ だから、 $AD - DS = () - BQ$
よって、 $AS = CQ \dots \textcircled{3}$

①、②、③より、()が、それぞれ等しいので、
 $\triangle APS \cong \triangle CRQ$
合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $PS = RQ$

(2) ひかりさんは、同様に $PQ = RS$ を証明することにした。このとき、用いる2つの三角形はどれとどれにすればよいか答えなさい。

答え △ _____ と △ _____

(3) ひかりさんは、右のように□ABCDの条件を増やすと、四角形PQRSがどのような形になるか考えてみることにした。このとき、次の問いに答えなさい。

増やす条件

(条件1)
 $\angle A = 90^\circ$

(条件2)

点P、点Q、点R、点Sは、AB、BC、CD、DAの中点とする。

① (条件1)より、□ABCDは、どのような形になるか、下の()から選び、記号で答えなさい。
また、【理由】の()にあてはまる数や言葉を書き入れなさい。

答え 記号 _____

【理由】 平行四辺形の向かい合う角の大きさは等しいので、 $\angle A = \angle () = 90^\circ$ です。
また、四角形の内角の和は()°だから、残った 180° を()で割ると、 $\angle B = \angle D = ()^\circ$ です。
ここで、 $AD > AB$ だから、選ぶ図形は()です。

② (条件1)に(条件2)を加えてできる四角形PQRSはどのような形になるか。

次の()から選び、記号で答えなさい。

答え _____

- ア 正方形 イ ひし形 ウ 長方形 エ 直角三角形

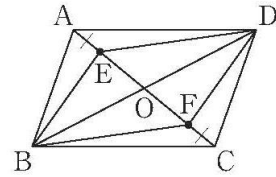
4 B 問題 (No.1)

()年()組()番 名前()

4 優花さんは、次の問題を解きました。

問題

右の図のように、平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とし、線分 OA, OC 上に、 $AE = CF$ となる点 E, F をそれぞれとります。
このとき、四角形 EBF D は平行四辺形になることを証明しなさい。



優花さんの証明

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから、
 $OB = OD$ ……①
 $OA = OC$ ……②
 仮定より、
 $AE = CF$ ……③
 ②, ③より、
 $OA - AE = OC - CF$ ……④
 ④より、
 $OE = OF$ ……⑤
 ①, ⑤より、
 対角線がそれぞれの中点で交わるから、
 四角形 EBF D は平行四辺形である。

練習問題の 1
2
と関連があるよ!

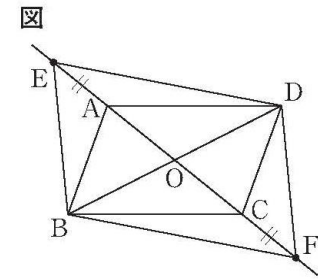


次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 優花さんの証明では、四角形 EBF D の対角線がそれぞれの中点で交わることから、四角形 EBF D は平行四辺形であることを証明しました。四角形 EBF D が平行四辺形であることから新たにわかることを、下のアからエまでの中から 1 つ選びなさい。

- ア $EB = FD$ イ $ED = EF$
- ウ $OE = OF$ エ $AE = CF$

(2) 右の図のように、平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とし、線分 OA, OC を延長した直線上に $AE = CF$ となる点 E, F をそれぞれとります。優花さんは、このときも四角形 EBF D は平行四辺形になると予想しました。



図において四角形 EBF D が平行四辺形になることは、前ページの優花さんの証明の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から 1 つ選び、正しく書き直しなさい。

- ア
- イ
- ウ
- エ
- オ

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから、
 $OB = OD$ ……①
 $OA = OC$ ……②
 仮定より、
 $AE = CF$ ……③
 ②, ③より、
 $OA - AE = OC - CF$ ……④
 ④より、
 $OE = OF$ ……⑤
 ①, ⑤より、
 対角線がそれぞれの中点で交わるから、
 四角形 EBF D は平行四辺形である。

答え 選んだ記号 ()
正しく書き直したもの

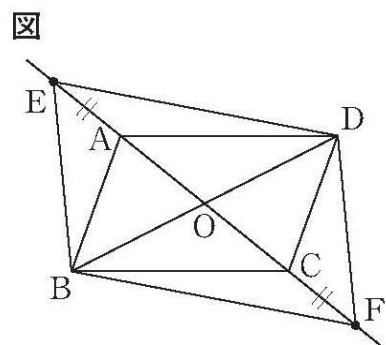
練習問題の 3
と関連があるよ!



答え _____

(3) 前ページの問題では、優花さんの証明から「四角形ABCDが平行四辺形ならば、四角形EBFDは平行四辺形である。」ことがわかりました。

問題の平行四辺形ABCDを正方形に変えると、四角形EBFDは平行四辺形の特別な形になります。四角形ABCDが正方形ならば、四角形EBFDはどんな四角形になりますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。



答え



練習問題の 1
3
と関連があるよ!

※平均正答率

	(1)	(2)	(3)
全国	55.4	42.4	42.3
私			

正解した問題には、私の欄に○印をしましょう。